



THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズメンズクラブ
"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2017-2018)

国際会長主題：“Let Us Walk in the Light - Together” 「ともに、光の中に歩もう」

アジア会長主題：“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事主題：“Healthy mind & healthy body make healthy club” 「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」

中西部部長主題：「未来には希望がある」 “Hope for the Future”

クラブ会長主題：「クラブのみんなと共に輝こう！」

Monthly Bulletin

第254号

2018年3月

聖書のことば

「・・・隣人を自分のように愛しなさい」

ルカによる福音書 10章 27節

選者 藤井 弥生

2月例会報告

「サプリメントって
本当に効くの？」

藤好 基子

数年に一度の大寒波で、毎日、雪かき、雪下ろしをなさっている方は『もういい加減にしてくれ！』と叫んでいらっしゃいました。ちょっと温かな今夜は TOF 例会です。例会場もホテルではなく大阪 YMCA 土佐堀会館に集まりました。

「サプリメントって本当に効くの？」と題したメンバー卓話（杉浦真喜子メン）です。薬学の専門家・杉浦さんは「薬剤師の免許は持っていますが、薬剤師として働いたことはない」とおっしゃりながら卓話が始まりました。サプリメントは一般には、栄養補助食品・健康食品と言われ、あくまで薬ではなく食品であると認識しておくこと。効く物もあれば、効かない物、効く人もある、効かない人もいるので「自己責任」で試してみるしかない。<科学の読み書き算盤力を身につける 十か条>を教えてもらいました。・自分で判断する・単純な情報は排除する・警戒する・考える・冷静に対処する・発表される場に注目する・量に注目する（ラットと人は違う）・事象が発生する条件、特に人間に当てはまるかを考える・他のものと比較する目を持つ・柔軟に考えを変えていく。本当に効くの？から本当に大丈夫なの？の頭が必要ということですね。出来るかぎり自分でパッケージ、広告、どん

3月第1例会プログラム

日時：2018年3月14日（水） 18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

司会 杉浦真喜子

吉岡香代子会長

1. 開会点鐘

2. ワイズソング

3. 聖句朗読

4. ゲスト・ビジター紹介

5. 連絡・報告・ニュース

6. 食前感謝＆食事

7. 卓話「HuMA のお話」 鶴飼 卓さん

(NPO 災害人道医療支援会 HuMA 常任理事)

8. お誕生日祝い

9. ニコニコ献金

10. YMCA の歌

11. 閉会点鐘

ドライバー

吉岡香代子会長

例会当番（A）

受付当番（D）

【次頁に続く】

鶴飼卓さんのプロフィール

1938年3月 横浜市生まれ

1963年大阪大学医学部卒 専門領域：外科・救急医学

1980 年にカンボジア難民救援医療のため 6 ヶ月間タイ・カンボジア国境の難民キャンプで医療活動。帰国後日本国際緊急援助隊医療チームの設立に関わり、さらに 2002 年 NPO 災害人道医療支援会を設立。

2月統計		
第1例会出席者数	例会出席率	B F 統計
メンバーパートナー 16名	出席者 16名	日本 340g 累計 750g
ビジター 1名	メイキャップ 0名	外国 2g 累計 72g
ゲスト 0名	合計 16名	現金 円 累計 円
コメント 1名	在籍者 20名	提供者： 生雲、今井、桑原、杉浦
合計 18名	出席率 80%	武井、藤好、松下、保田、吉岡、吉田

なカテゴリーの物かを調べてから取り入れましょう！と話されました。

質疑応答時間では「綺麗になる」「元気になる」とうたわれていると使ってみたくなるんだけど・・・。全て「自己責任」、

本当に困った時はかかりつけ医師、薬剤師に相談が大事と。先日、薬局へ風邪薬を買いに行った時の薬剤師さんに「何か服用してますか？ 緑内障は？」と聞かれました。薬剤師さんって頼もしい！ と実感しました。



中西部合同新年会が開かれました！

桑原 賴子

1月20日(土)大阪YMCA会館に於いて、大阪高槻クラブがホストの中西部合同新年会が行われました。

1週間前は雪も降る極寒だったのに、今週はコートも脱ぎたくなるような陽気の上にインフルエンザが大流行ですが、元気なメンバーが参加されていました。



催しは、「大阪府立三島高等学校ジャズダンス部」のダンス。中西部では珍

しい催します。そう言えば以前、高校の太鼓部の演奏もありました。地域密着型の高槻クラブならではのことです。このダンス部は国際大会に出場し優勝の経験があり、また次のアメリカ国際大会で優勝することを目標に頑張っているところで、参加ワイスメンは費用のカンパをしました。

舞台を所狭しとダイナミックに踊る若者のエネルギーを感じましたが、テレビで見る国際的なダンス大会に参加する部

活の在り方も変わったものだと、感慨を覚え、フロアから舞台を見上げるワイズメンとの対比を感慨深く見ました。

美味しいお弁当とビールをいただきながら会話が弾み、食事が終わったころはテーブルを越えての懇親が続きました。ほとんどの参加者が登壇したのではないかと思われるほどのアピールに続き、bingoゲームでは、「bingo！」の声に続々と景品の場に群がり、籤運のない私も最後の方でbingo！美味しいそうなスープをいただきました。

今期も後半、変わりゆく中西部の現状に対し、それぞれが
ワイス



「京都洛中クラブ 30 周年・富士五湖クラブ
15 周年記念合同例会・・・」に参加して

國友 朝子

去る2月3日（土）ANA クラウンプラザホテル京都において京都洛中ワイズメンズクラブの30周年・富士五湖ワイズメンズクラブ15周年記念合同例会ならびにこの2クラブのDBC 締結式が行われました。出席者は台北大橋クラブの18名を含め総勢 120 余名。

男美女のカップル誕生じゃありませんか。集った
ワイスメン達からも「ええ、なあ」というと声「お
うでとうござります！」
の声がいっしょに。

その後、これから洛中

ワイズメンズクラブが取り組むことになる「介助犬」のデモンストレーションを拝見。キャロルはとてもおとなしくて働き者のワンちゃんでした。

続く懇親会はもう賑やかで美味しい、わいわいといつものワクワクの集まりとなりました。乾杯のシャンパン、白ワイン、赤ワイン、お料理、ぜんぶ良かったです。

そして、酩酊気味の実行委員長挨拶に送られて帰途につきました。なかのしまの参加者は6名。

「九州部新年会」に参加して

吉田 由美

熊本がこんなに近く気軽に来できるなんて、初めて知りました。新大阪から3時間2分、しかも車両の座席はのぞみグリーン車とほぼ同じ広さです。4度目の訪問となった熊本は前日からの寒波が残りキンと冷え切った、でも申し分ない天候でした。JR熊本駅から会場までの約700mは熊本の空気を体に精一杯取り入れながら歩きました。1月13日に開催された新年会は『九州部新年会』ではなく『熊本地区合同新年会』です。九州部に所属しているクラブは16ありますが、その内、熊本地区だけで11クラブです。福岡中央

Y's コメントから Y's メンへ 【3】

藤好 基子

前回までに書いた事柄と時間が前後することをお許し頂いて・・・

大阪市阿倍野区松虫通りにあった丸の社宅で私は生まれました。私の誕生後直ぐに父は近江八幡にあったウォーリズ記念病院（サントリウム）へ、結核治療で入院しました。母は乳飲み子の私を預け面会に通ったそうです。その時も里見氏、奈良氏や、ウイリアム・メレル・ウォーリズさんに励ましを受け、療養しました。「皆さんに支えら、助けて頂いた」と母から聞いています。

父は療養後、仕事（アメリカ留学も含む）も YMCA 会員としてもワイスメン活動も活発に励みました。ネット参加を認められた第6回区大会（1951年・金沢）、第7回区大会（1952年・京都）に両親に連れられてコメントデビューした私ですが、2歳と3歳でしたから何の記憶も有りません。兄姉は小学生と幼稚園児になっていたので私だけを連れて行ったようです。

姉と一緒に『望みの門』幼稚園にわけも分からず楽しく、くっ着いて通っていましたが、1954年9月、父の転勤で東京へ移りました。長屋のような社宅から世田谷区上馬の一軒家社宅だったのでビックリ！（どちらにしても社宅なのに子ども心に大きなお家と喜んだ反面、怖かった記憶があります）父は大阪クラブから東京クラブへ移りました。東京クラブにはクリスマス例会に連れられて行った事がありました。おじさん、おばさんたちが楽しそうに集まり、歌ったり踊ったり（？）プレゼントをいただき楽しか

かったです。母もネットとして父をサポートし、3人の子どもたちを懸命に育ててくれました。



クラブ所属の小田九州部長は例会の祝辞に「熊本の元気が九州部の元気の源であり、西日本区の元気の泉である」と書いておられる通り、元気な例会でした。

熊本地區は一昨年の震災で甚大な被害を受けられましたが、熊本在住のワイスメンが中心となり、全国ワイスメンが協力し献身的な働きをしたおかげで熊本市民、県民に笑顔が戻ってきている事も感じました。今期、地域奉仕・環境事業主任の立場で、一昨年の震災発生時からのワイスによる支援内容資料を見直すと、ワイスメンの自信と誇りに溢れた活動が見えてきます。私たちもワイスメンであることを胸を張って叫び、元気に明るく楽しく活動していきましょう。

「YMCA は私」 No9

山佐 亜津子

ある企業コンサルタントが言っていたことですが、人が社会で生きていく中で、最も大きな影響を受けるのは、学習、経験、一緒にいた人のうち、一緒にいた人が一番大きな要素だそうです。YMCA では本当にインパクトの強い人にたくさん出会いましたし、色々な経験もさせてもらいましたが、思えばそれらの経験の中にも、ユニークで魅力溢れる人たちとの深い関わりがいつもありました。その人たちの話だけでも、1年分のコラムが書けたかも知れません。

国際専門学校時代の恩師であり、また YMCA 入職後は一時期上司であった I 氏。超わがままで、自分勝手で、口が悪く偉そうで、自画自賛で、ピリピリ尖っていて、手抜きや甘えを一切許さず、暴言もしばしば。学生も教職員をも怖がらせていた鬼の英語教師の I 氏は、けれどそんな無茶苦茶な性格も周囲が許してしまえる程、お茶目な遊び心も持ち合わせた天才的な教師であり、人に対する以上に自分自身に対して妥協せず、教育という仕事の質を極めた人でした。それは英語教師という意味だけでなく、人を人として育て、輝かせてくれる人生の教師とも言えるのです。教育とは引き出すことであると言いますが、一人ひとりの力や性格などを的確に捉えて、いつもそれぞれに少し高いチャレンジを絶妙なタイミングで与え、学生や部下である教職員が自分でも気づかなかった力を引き出して、成功体験や達成感を持たせてくれた人でした。専門性はもちろんのこと、人の洞察力と、一人ひとりと本気で向き合う姿勢、それから深い愛情なしには決してできない業です。私は教師ではありませんが、YMCA で教育に携わる仕事をしていて、学校像や指導者の像は明確に持っているつもりなのですが、その像は、この I 氏の教育者としてのあり方が少なからず影響しているのです。

今は某大学の副学長である I 氏。お年と共に人間が丸くなってきたが、たまに飲みに行く度に、スタッフとしてのあり方、仕事の向き合い方を考えさせられます。YMCA 人間は OB になっても YMCA 人間。切れずにずっと力をくれる人が、一人ならずいるのも YMCA です。

2月第2例会報告抄

日時：2018年2月21日（水）18:30～20:00

場所：大阪YMCA 502号室

出席者：12名

1. 近隣クラブを訪問して、ファミリーコンサートのチケット販売の協力依頼をすることになった。
2. 「うなぎの森」植樹祭の参加依頼があった。
3. 吉岡会長より第3回評議会報告がなされた。

ニコニコ献金 2月 15,715円

〈ニコニコメッセージ〉 — 2月例会 —

- ☆ 今日は大阪なかのしまクラブのTOF例会の仲間に入れていただきて交流するチャンスに恵まれてラッキーな時を過ごすことが出来、感謝しています。
(大阪センテニアルクラブ 山田孝彦)
- ☆ 西日本区事務所の引っ越しも無事終わりました。お手伝いいただいた大野理事、進藤書記、山川主任、そして三科主任の会社の優秀なスタッフに感謝！
(生雲)
- ☆ 1年1度のTOF例会、少し空腹の淋しい例会ですがしっかりその意味を味わいたいと思っています。
(今井)
- ☆ 次年度、幼稚園の仕事を辞めた方が良いかと思いましたが、出勤日を減らして続けることになりました。元気でいなくては・・・と感謝です。
(江見)
- ☆ わたし、薬嫌いで血圧降下剤一錠を飲み忘れるので、医者にいつも叱られています。お年だから気をつけなくては！
サプリメントに縁遠いです。
(大岸)
- ☆ 杉浦さんのお話は本当にわかりやすくとても参考になりました。信じるも信じないも自分次第のところもありますね(笑)。
(大橋)
- ☆ しつこい湿疹に悩まされ、あれこれ薬、はたまたサプリにと、泣き笑いのながーい年月。それが、ひょんなことからあっという間に軽快。なんでなん？？もーやいや、薬はもう塗りませんとあきらめたからかなー。
(國友)
- ☆ 1月31日の皆既月食見ました。早い時間は赤い大きな月、だんだん欠けてもとに戻ったら陰影がはっきりした赤黒い月でした。
(桑原)
- ☆ お話しする機会を与えて頂き、ありがとうございました。ちょっとでもお役に立てたらいいのですが・・・?
(杉浦)
- ☆ 今日の会場はYMCA会館。思い切って一人で車を運転して土佐堀駐車場へ！これからもがんばろう！
(瀬島)
- ☆ 同窓会館で布地をたくさん頂くことになり、江見さんと取りに行きました。その事で頭がいっぱいになり、例会当番のことをわすれていきました。ごめんなさい！
(武井和子)
- ☆ すぎうらさんのおはなし、たのしみです。
(武井美帆)
- ☆ 楽しみにしていた、久しぶりのジャム作り19日は行くつもりだったのに20日も行けなかった。残念！
(藤井)
- ☆ 昨年からの大胸筋の痛みが少しづつ薄れてきました。春が近づいて身体も喜んでいるのかしら？痛いの痛いの飛んで行け～～！そして、は～るよ来い！
(藤好)
- ☆ 年度狭間の超多忙なこの時期、でも、楽しみにしていた杉浦さんの講話の日に出席できて嬉しい！！
(山佐)
- ☆ 骨はついたけれど周辺の筋肉がよくなっているので、良く歩いて機能回復をといわれて、歩いていたら今度はこうびました。うちの近所は坂だらけなので・・・大したことないのが幸いですが顔面を打ってちょっとケガしてます。
(保田)

- ☆ 2月の例会は杉浦さんの卓話でサプリメントの効果についてのお話でしたが、難しすぎてどれがいいのか解らなく、種類の多さにもびっくり！！私は日々の食事と歩きを充実させようと思う。
(吉岡)
- ☆ 娘に二人目の子供ができて、孫の総数が5人になりました。こんな事を言う年代になったなんて、びっくりですが、ばあばは頑張らねば・・・
(吉田)

YMCAニュース

★大阪 YMCA 防災セミナー「災害への対応力を育む～被害〇(ゼロ)のまちを目指して～」

日 時：2018年3月24日(土)13:30～15:30

会 場：大阪 YMCA 会館 10階 101号室

講 師：三浦浩史さん

(株式会社シャカリハ 代表取締役、大阪府介護支援専門員研修講師、理学療法士)

申込み:土佐堀 YMCA 地域活動委員会 担当:藤田

FAX : 06-6441-0809

E-mail:fujita-rika@osakaymca.org

★土佐堀会館工事のお知らせ

土佐堀会館の外壁全面補修工事を下記の期間実施いたします。工事期間中は、駐車・駐輪場の使用制限を致しますので、自動車、自転車での来館はお控えいただきますようお願いいたします。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程お願ひいたします。

日 時：2018年2月1日(木)～6月30日(土)

3月は卒業や異動などがあったりと様々な別れの時もあります。4月の新たなスタートに向けて気持ちを心機一転したいですね。

大橋 昌美

= お知らせ =

◎神谷雅子さん（東京西クラブメネット）、吉野美智子さん（元京都センチュリークラブメンバー）より、それぞれプリテン発送用切手をお送り頂きました。

感謝

◎清水さん（今井さん友人）、吉野美智子さんよりそれぞれBF使用済み切手を頂きました。

感謝

編集後記

寒い寒いと思っている内に、日が長くなり、日差しが明るくなり、梅が咲き始めました。どんなに寒くても、春は確実にやってくるのですね。でも嬉しい思いとともに、何か焦る気持ちになるのも今頃です。ああ～、もう春になる、未だ何も準備ができないのに・・・と。ワクワクも「まとめ」の時期に入っていきます。そろそろ次年度のことも考えないと・・・